

令和4年度東淀川区区政会議第1回安全・安心・まちづくり部会（意見聴取会）（R4.7.27）での意見と対応一覧

議題：令和3年度東淀川区運営方針自己評価について

【当日出された意見等】

	意見内容	回答	対応	担当課
1	経営課題1（地域活動協議会） 地域の中で地域活動協議会の認知度が差がありすぎるので、もっと認知度を上げるように男性、女性、高齢者、若者関係なく地域全体で認知度を上げる働きかけをする手法を地域活動協議会の方たちにお伝えできるような取り組みを（今だと地域の古老の遊び場になっている感じがする）。若い世代が集まりにくい場所になっている様に思う。	【古川地域課長】 地域活動協議会は連合町会等の団体が集まってくる仕組みであり、その役員に連合町会の役員がついていることがあるので、そういったことも含めて認知度の向上に努めてまいります。	地域活動協議会は、1つの単独組織というよりも、町会（連合振興町会）をはじめとした地域団体や企業、NPO、学校園等、地域のまちづくりに関する様々な団体等の集合体であり、地域の課題や問題の解決に取り組み、豊かなコミュニティを形成するための仕組みです。区役所としては、地域全体の課題解決に取り組み地域活動協議会の活動支援を進めておりますが、町会（連合振興町会）や地域社協等、それぞれの任意団体との連携支援も行います。 また、地域活動協議会の認知が進まない要因として、コロナ禍により、地域活動も中止を余儀なくされたことで、地域活動協議会の存在や活動が、区民に広く認知されづらい状況が続いていることも一つであると料してありますが、地域活動協議会を幅広い世代の方に認知していただき、新たな担い手にもつなげる為に、各地域活動協議会とも連携しながら、様々な広報媒体も活用し、認知度向上への取組を進めます。 なお、令和4年度からは、区役所庁内デジタルサイネージを活用した地域活動協議会の広報や、地域活動協議会広報紙の担当者座談会の開催など、新たな取組もはじめています。	地域課 (地域)
2	経営課題1（地域活動協議会） 地域活動協議会と町会（連合振興会）と2つの組織があつて分からないという方が多い。地域活動協議会って何ですか？とPTA等から聞かれる事もまだまだ多い。			地域課 (地域)
3	経営課題1（地域活動協議会） 地活協、連合、社協とあるが3団体の中で地活協だけが前に出てバランスが上手く行っていないのでは。			地域課 (地域)
4	経営課題1（地域活動協議会） 住民は地域活動に関する情報に受け身だと思うので届きやすい発信を。			地域課 (地域)
5	経営課題1（地域活動協議会） 地域活動協議会が区民に認知されていない要因を分析できているか。			地域課 (地域)
6	経営課題1（高齢化と担い手） 大阪経済大学のフレイル(加齢により心身が衰えた状態のこと)予防講座について、市営住宅では住民の高齢化が進んでいる。そういうことも考えて地域住民の担い手となることを考えていっているのか。	—	区内全体の傾向として、住民の高齢化とともに地域活動の担い手も高齢化が進んでおりますが、コロナ禍により、地域活動が中止・休止となる状況が続き、百歳体操等、高齢者が定期的に体を動かす機会も減少したことを受け、地域づくりアドバイザーが中心となって、大阪経済大学と連携し、フレイル予防講座・相談会を実施、地域活動の再開・継続支援を行っています。 今後も、地域の課題に応じた地域活動の安定的な継続に対する支援を進めていきます。	地域課 (地域)
7	経営課題1（地域づくりアドバイザー） コロナ禍で以前のように地域活動協議会の活動がなかなか以前のようにできていないと思うが地域づくりアドバイザーによる支援に満足しているというのはどういった状態なのか。	—	コロナ禍においても、地域活動をいかに継続させていくか、また一旦中止・休止となった活動を再開する際の支援や情報共有を地域づくりアドバイザーが中心となって継続していたことが評価されたものと思料します。 地域づくりアドバイザーは地域活動協議会を中心とした地域における自律的なまちづくり活動の支援に必要な存在であることから、会計年度任用職員として雇用期間に限りはありますが、雇用期間中は公務員としての身分を保障しているとともに、義務が課せられています。引き続き、地域実情に応じた地域に寄り添った地域活動支援を実施してまいります。	地域課 (地域)
8	経営課題1（地域づくりアドバイザー） 地域づくりアドバイザーが大事というのであれば身分保障が必要では。身分保障をすることで活躍の場が広がるのでは。			地域課 (地域)
9	経営課題1（区民主体のまちづくり） 様々な取り組みと担い手さんと区役所の関わり方について区民の方が主体と言われていたのもう少し詳しく聞いてみたい。	—	地域の担い手の発掘と、地域力の向上、魅力あるまちづくりを目指して、区役所としても、“区民まつり”への企画や、“東淀川区みらいEXPO”による企業・教育機関・NPO・個人等が連携・協働が促される機会の場づくり、そして“東淀川魅力発見プロジェクト”を通じて新たな連携が育まれる取組支援等を行っています。区民主体で進める魅力発見プロジェクトについては、区役所としては会場の提供やメンバーとの調整など後方支援を行っています。	地域課 (地域)
10	経営課題1（区民主体のまちづくり） 地域の生活者である住民が主体となってまちづくりをすることは重要だが、その意識がなかなか生まれていない現状と意識があっても広がり深まらないのが大きな課題である。	—	自助・共助を担う地域力と、にぎわいのある元気なまちを目指し、より多くの住民参加による自律的な地域運営の実現のため、地域の実情に即したきめ細やかな支援を行いつつ、情報の発信を積極的に行っていきます。	地域課 (地域)
11	経営課題1（川のある風景） 「川のある風景」が名物だと思うのでインスタや絵葉書で写真を募集してみてもどうか。		現在、インスタグラムの運用予定はありませんが、今後、SNSを活用した区の魅力発信や愛着心を持っていただく取組の実施を検討してまいります。	総務課 (総合企画)

令和4年度東淀川区区政会議第1回安全・安心・まちづくり部会（意見聴取会）（R4.7.27）での意見と対応一覧

議題：令和3年度東淀川区運営方針自己評価について

【当日出された意見等】

	意見内容	回答	対応	担当課
12	経営課題1（まちの魅力発信） 東淀川魅力発見プロジェクトに2大学の学生さんにも入ってもらえませんか。	【古川地域課長】 2025年の万博に向け、みらいEXPOのHPもリニューアルしてまいります。	『魅力発見プロジェクト』の活動へは、大阪経済大学から経済学部准教授とゼミ生にもご参加いただき、大阪経済大学ホームページにおいても当プロジェクトの取組を案内していただいております。 長引くコロナ禍の影響により、人と人が接触する機会が激減したことで、コロナ禍以前のような交流・連携が難しい状況が続いておりますが、ICTも積極的に活用することで、オンラインでつながる場、リアルにつながる場を効果的に設定しながら、多様な主体の連携をすすめていきます。	地域課 (地域)
13	経営課題1（まちの魅力発信） 魅力あるまちづくりについてコロナ禍で地域的に進んでいないと思う。			地域課 (地域)
14	経営課題1（まちの魅力発信） まちの魅力発信には若い年齢層や事業者の力を借りる必要があると感じる。 エール飯は住民発信の良い取り組みだと感じた。			地域課 (地域)
15	経営課題1（まちの魅力発信） 東淀川みらいEXPOの取組など、アンケートに基づいてアプローチの視点が面白いと思った。 各々のテーマを1回きりでなく継続できたらいい。			地域課 (地域)
16	経営課題1（まちの魅力発信） 「コロナに負けるな!」動画の内容はいいのに再生数がさみしいのでLINEで時々見られるようにするのはどうか。	【古川地域課長】 すぐにやれる取組については行ってまいります。		「コロナに負けるな!」については、東淀川区の地域団体の自主的な活動の促進をすることで、人的、地縁的なつながりの醸成を推進することを目的に実施してきました。現在も動画を区ホームページに掲載していますが、より多くの方にご覧いただくために、SNSを活用してPRをしていきます。
17	経営課題1（西部地域まちづくり） 西部地域まちづくりに参加した区民が有効と感じていない要因は？関心がないとは思えない。 幅広く参加できるような取組が必要では？ どう変わっていくか見えるものが必要では。	【吉矢企画調整担当課長】 コロナの影響により地域に入れず意見交換が進まないため、有効と感じていないとの回答が多くなりました。コロナの状況を見ながらワークショップ等によりアクションプラン策定を促進したいと考えております。	回答済み	地域課 (企画調整)
18	経営課題1（西部地域まちづくり） 地域としてアクションプランを作るようにと言われていたが、数十年前から様々な要望を出し続けているがその回答がない。そんな状態でアクションプランを作れと言われてもアクションプランは作れないように思う。情報の整理が必要では。	【吉矢企画調整担当課長】 コロナ前にアクションプランに向けたワークショップが最も盛んだった地域においても、議論が止まったためこのような意見が出ています。コロナの状況を見ながらアクションプランに向けた地域の思いを繋いでいきたいと考えております。		地域課 (企画調整)
19	経営課題4 防災防犯は分かりやすい取組。今後も継続していく必要がある。	—	今後とも継続して事業実施していくことが重要であると考えています。	地域課 (安全まちづくり)
20	経営課題4 インターネットアンケートの結果、10代～30代の防災、防犯、交通安全への関心が高い。これを受けてこれら若者に対する新たな施策等の考えはあるか。	—	若い方々が、防災、防犯、交通安全に関心を持っていただいていることはとても有難く存じます。9月に開催する女性のための「アイメイク防災」講座をはじめ、区民のニーズを踏まえ、施策を実施してまいります。	地域課 (地域) (安全まちづくり)
21	経営課題4（防災） 強制はできないが防災訓練の時には防災リーダーは非常用持ち出し袋の中身を入れて持ってくるようにはできないか。	—	各地域で実施する防災訓練において、各地域で訓練内容を決められることですが、ご指摘のような訓練をすることも一つの手法であると考えます。	地域課 (安全まちづくり)
22	経営課題4（防災） 東淀川みらいEXPOで防災講座を行います但各地域の子育てサロンでも防災講座ができないか。	—	区役所としても職員による出前講座を実施しておりますのでご利用ください。	地域課 (安全まちづくり)
23	経営課題4（防災） 名前、避難場所、経路などを書いた被災パスポート（SOSカード）の作成に取り掛かれないか。	—	水害ハザードマップで、避難先や避難行動等に係る記載欄を設け、各々で作成いただくような取組を行っています。	地域課 (安全まちづくり)
24	経営課題4（防災） 避難所である小学校～大学の防災意識の向上や避難訓練を行う体制の構築を。	—	区役所としまして、小中学生等に対して、防災学習を実施しているところですが、コロナ禍で制限される場所もあり、できる限り、防災学習の実施に努めてまいります。	地域課 (安全まちづくり)
25	経営課題4（防災） 災害時における福祉支援を。 実際に体験を持つ事業者を呼び講演会を行ってほしい。	—	災害時における要援護者支援については、重要であると認識しています。講演会の実施に当たっては、予算等を勘案しながら、関係部署とも連携し、検討してまいります。	地域課 (安全まちづくり)
26	経営課題4（防災） コロナ禍で実際にもっと進めるべき防災に関する取組が進んでいないように感じる。企業との連携なども進めてほしい。	—	コロナ禍で防災訓練など対面での取組が困難でしたので、ホームページやSNSを活用し、防災の取組を進めています。また、これまで、市や区において、企業等と災害協定を結んできていますが、今後も企業等との連携を拡充してまいります。	地域課 (安全まちづくり)

令和4年度東淀川区区政会議第1回安全・安心・まちづくり部会（意見聴取会）（R4.7.27）での意見と対応一覧

議題：令和3年度東淀川区運営方針自己評価について

【当日出された意見等】

	意見内容	回答	対応	担当課
27	経営課題4（防災） 住民数と避難所収容数が合っていない。 災害が来てから考えるのではなく常に考えてほしい。 物資は〇〇に集まりますとSNSでアナウンスや大丈夫な人は自宅避難を行うようにアナウンスが必要では。	—	ご指摘のとおり、特にコロナ禍においては、災害時避難所の収容数が足りなくなることも想定されますので、区役所としても、3階以上の堅固な建物などであれば、自宅避難をしていただくように啓発をしています。今後も自宅避難が可能な方へ自宅避難をしていただくよう啓発してまいります。	地域課 (安全まちづくり)
28	経営課題4（防災） 大阪経済大学などで行われている「心・身体の健康と防災」に参加したが、各連合の防災リーダーや防災部長の参加率が低かったように思う。せっかく大阪経済大学を使った講座なので、区からの積極的な地域への情報発信も大切ではないか。	—	区役所主催又は共催の取組による防災の取組などを区民の皆様へ情報発信することは重要なことであると認識をしています。ご指摘の講座については、広報紙の5月号で記事の掲載をしていますが、今後もできる限り区内における防災に係る様々な情報を積極的に広報紙やSNSを利用して区民の皆様へ提供できるよう努めてまいります。	地域課 (安全まちづくり)
29	経営課題4（防災） 線状降水帯発令に伴う区の対応は。	—	線状降水帯発令については、風水害の一種であり、従来の風水害の対応を行います。	地域課 (安全まちづくり)
30	経営課題4（防災） 広報紙7月号で水害ハザードマップが掲載されているが、区民により広く深く知ってもらうための説明会等を開いてはどうか。また、安威川ダム完成によるハザードマップの修正はあるのか。また、障がい者向け水害ハザードマップ（音声や点字等）の作成状況は。	—	水害ハザードマップの説明について、区役所としても職員による出前講座を実施しており、ご相談をいただければ、有難く存じます。安威川ダムの完成による水害ハザードマップの修正については、河川管理者である大阪府が浸水想定を変更すれば、水害ハザードマップも修正することになります。障がい者向け水害ハザードマップにつきましては、現在、国において、作成方法などについて検討中であり、その動向を注視してまいります。	地域課 (安全まちづくり)
31	経営課題4（防災） コロナ禍での他地域での災害経験を共有しながら実情に即した取り組みを。	—	ご指摘のとおり、他の市町村や地域での災害経験に基づく防災の取組を参考にし、防災の取組を推進することは重要であると認識しており、今後とも、他の取組を参考にし、防災の取組を進めてまいります。	地域課 (安全まちづくり)
32	経営課題4（防犯） 青パトなど意識を持ってもらえる働きかけをしているが、魅力あるまちづくりの企画、取組と何かをマッチングさせて運転する担い手を若い人に広げることができれば良いのではないか。	—	地域の青パトの運転手をはじめ、高齢化により、地域の担い手が不足しており、今後、若い方たちが担い手になっていただけるように、ご指摘のような啓発も検討してまいりたいと考えています。	地域課 (安全まちづくり)
33	経営課題4（防犯） 青パトの担い手の高齢化や車の維持費など色々先送りされている。地域任せなのでは。	—	区役所としましては、防犯活動として、職員による青パト巡回や夜間の青パト巡回の業務委託を行っております。地域での青パト巡回につきましては、地域の住民の方々に担っていただくことにより、地域が主体となった防犯活動に取り組み、地域住民の方々の防犯意識の向上につながるものと考えております。	地域課 (安全まちづくり)
34	経営課題4（防犯） 実際に詐欺の被害が出ている。SNSではなく逆に対面での声掛けでの取り組みのほうが有効では。	—	特殊詐欺の被害防止の啓発について、ご指摘のとおり、SNSを活用した取組よりも対面での取組の方が直接啓発することができ効果的であると考えますが、この間コロナ禍でもあり、対面での啓発が困難な状況でした。今後は、感染対策を取りながら、警察と連携して対面による啓発も実施していきたいと考えております。	地域課 (安全まちづくり)
35	経営課題4（防犯） コロナ禍特有の特殊詐欺が多いように思う。SNSを使った啓発を。	—	これまでも、HPやSNSなどを活用し、特殊詐欺被害防止に向けた啓発を行っておりますが、被害防止に向け、より一層取組を進めてまいりたいと考えております。	地域課 (安全まちづくり)
36	経営課題4（交通安全） 4-3-1と4-3-2で乖離があるのでは？ マナーの向上は進んでいないが交通ルールを順守しているという矛盾した形になっている。駐輪場対策だけではなく左側通行ルールの徹底など交通ルールの啓発も必要では。	—	ご指摘のとおり、区民自身は交通ルールを守っておられる方が多いにもかかわらず、実際、ルール順守やマナー向上が進められていないと感じる方が多い結果となっており、区役所としましては、社会全体で交通ルールの順守や交通マナーの向上が図られていると実感できるよう、更なる啓発に取り組んでまいります。	地域課 (安全まちづくり)
37	経営課題5（区政会議） 区政会議についてざっくりばらんに話せる場が必要だと思う。	【岡田総合企画担当課長】 学習会の適宜開催及び電子掲示板の開設など、委員の皆様からの意見を聞き取ることでできる場の創出に努めてまいります。 また、コロナ禍でも区政会議は重要なのでWEB参加も併用等工夫しながら開催してまいります。	回答済み	総務課 (総合企画)
38	経営課題5（区政会議） 5-1-1のプロセス指標と実際の結果が乖離している。定足数に達していないのも致命的である。			総務課 (総合企画)
39	経営課題5（広聴広報） 市民の声の区回答件数32件というのは市民の声として送られたすべての数か。	—	区役所で受け付けた内容でも所管が局である場合は回答が局に移管されるので件数の対象外となります。	総務課 (総合企画)

令和4年度東淀川区区政会議第1回安全・安心・まちづくり部会（意見聴取会）（R4.7.27）での意見と対応一覧

議題：令和3年度東淀川区運営方針自己評価について

【当日出された意見等】

	意見内容	回答	対応	担当課
40	経営課題5（広聴広報） SNSに力を入れていることや成果が出てきているように感じるが、SNSを使えない層への今後の普及についての工夫などはどうしていくのか。	【岡田総合企画担当課長】 現在フォローいただいている方にはもちろん、現在見ていただいている層にも区役所に関心を持ってもらうよう見ていただけるように内容を工夫してまいります。	ご指摘の通り、LINEでの発信が多くなるとブロックされる率が上がり、折角登録いただいても区役所からの情報が届かなくなることも想定されるため、LINEで発信する情報は厳選しています。 今後も区民の皆様から興味を持っていただける情報や区民への取組に対する呼びかけを適宜発信することによりフォロワー数の増加につなげてまいります。	総務課 (総合企画)
41	経営課題5（広聴広報） 情報発信はよく工夫できていると思うが、そもそも自分にとってメリットがあると思わないと情報を取りにいかない。取りに行きたいという工夫も必要。			総務課 (総合企画)
42	経営課題5（広聴広報） フードドライブなど区民に取り組んでほしいことを頻度を見ながら定期的に発信するのが良いのでないか。			総務課 (総合企画)
43	経営課題5（広聴広報） LINEでの発信が多くなると見なくなる。 防災ネタやほっこりするネタなど、SNSでお得感を感じられるネタを発信できないか。			総務課 (総合企画)
44	経営課題5（広聴広報） 高齢者にはSNS等の情報が行き渡りづらい。スマホでない方もまだまだ多いためQRコードが使えない、ホームページの字が小さいという声をよく聞く。	-	アナログ・デジタルを問わず、あらゆる広報媒体をフル活用し、区民の皆さんが必要な情報を入手できるよう、情報発信に取り組んでまいります。 デジタルで高齢者向け発信をする際には、デジタルで受信した層に対し非デジタル層にも伝えるようお願いする工夫も行っています。 また、HPの文字サイズについては、パソコンで見ただけの場合は拡大が可能です。	総務課 (総合企画)
45	経営課題5（広聴広報） フードドライブ以外におむつや子ども服などリサイクルしているものはあるのか。	【岡田総合企画担当課長】 環境事業センターがベビー服や絵本などのリサイクルをしているのでSNSでの発信を調整してまいります。	回答済み	総務課 (総合企画)
46	経営課題5（広聴広報） 広報紙の広告掲載に当たり広告主のチェックはしているのか。	【岡田総合企画担当課長】 広告の内容が適切かどうかはチェックしております。業種によりギャンブル性が高いものは除外するなど基準を定めています。	回答済み	総務課 (総合企画)
47	経営課題5（広聴広報） 広報紙の配架場所を新規開拓するとしていたが令和3年度は何件増えたのか。	【岡田総合企画担当課長】 区内はほぼ網羅しつつありますが、令和3年度は新規に2件増。今年度に関しては、区役所横にできるイオンにも配架を予定しており、今後も広報紙が区民の手に取っていただける機会を増やしてまいります。	回答済み	総務課 (総合企画)
48	経営課題5（職員について） ・コンプライアンスや人権研修等の取組 ・不適切な事例が起きた時の対処 はどうしているのか。	全職員に対して、人権研修やコンプライアンス研修等様々な研修を何十という数の研修をしているので逆に効果が薄まっているところもあるかもしれませんが、不適切事務を無くすためにも人材の育成に努めてまいりたいと考えています。	・研修については、不適切事務の発生状況等を分析しより効果的な内容となるように努めます。 ・不適切事務が起きた時の対応は、まず当該事案を確認し区長に報告。並行して当事者に対するお詫びと説明等の対応の実施。また併せて、同種業務等に同様の不適切事務がないかを確認。事案の原因を突き止め今後の防止策を検討し定めています。 ・市民の皆様に対して、事案の内容等により、個別又は全市一括での報道発表を行います。 ・必要に応じて他区で発生した不適切事務も参考に再発防止に務めます。 ・不適切事務を起こした職員には人事評価制度の中で評価に反映する。また、少しの注意を怠ったために損害が発生した場合等には個人に対して賠償を求めることも必要と考えています。	総務課 (総務)
49	経営課題5（事務処理誤りについて） 個人情報の事務処理誤りの件数が減らないのはどういうことか。チェックが甘いのでは。 また、カスタマーハラスメントによる対策はどうしているのか。	個人情報を含まない不適切事務も含めた全体の件数は減少しているが、個人情報を含む事務処理誤りは指摘のとおり減少していません。 不適切事務を起こすと区民からの信用を損ない、カスタマーハラスメントにつながりかねないので不適切事務を無くしてまいりたい。	・不適切な事務を発生させてしまう原因は、複数ありますが、複数人でのチェック怠りや確認が不十分などマニュアル違反や事故防止のためのルールが守られずに起きた事故が多くありますので、確実にチェックできる仕組みと職員に対する徹底により発生の抑制に努めてまいります。	総務課 (総務)

令和4年度東淀川区区政会議第1回安全・安心・まちづくり部会（意見聴取会）（R4.7.27）での意見と対応一覧

議題：令和3年度東淀川区運営方針自己評価について

【当日出された意見等】

	意見内容	回答	対応	担当課
50	経営課題5（事務処理誤りについて） 不適切な事務処理件数の区の順位が12番とのことだが、人口比で見ればどうなのか。	—	人口と不適切事務の発生件数の関係は明確ではありませんが、令和3年度の人口10万人あたりの発生件数と比較すると、24区中少ない方から6番目の区になっています。	総務課 （総務）
51	経営課題5（その他） 事務のAI化は進んでいくのか。	—	事務のシステム化は順次進めていますが、区役所事務のAI化はこれからという状況です。	総務課 （総務）
52	経営課題3（地域福祉コーディネーター） 広報紙を使って役所のPRや手続きの使い方などの確に行われていると思うが、地域福祉コーディネーターも動かして高齢者事業だけでなく区の事業のお手伝いをするようにできればよいのではないか。	—	地域福祉コーディネーターは身近な支援の担い手として、地域における様々な生活課題を抱えた住民の相談窓口の機能を担い、助言や見守りを行うことを目的として配置しており、高齢者だけでなく、障がい者等、支援が必要な方を福祉の相談窓口につなぐなどの役割を果たしています。相談対応において、適宜、活用可能と思われる区の事業等のご案内を実施しています。 今後も地域福祉コーディネーター等が必要に応じ適切に区の事業等をご案内できるよう、研修等において情報共有や連携を行ってまいります。	保健福祉課 （保健福祉）